学生時代を通じて得たもの300　サカタ

【継続能力】です。この様に考える理由は、継続した努力の末に達成した「クロスカントリー大会優勝」の経験からです。私の高校ではクロスカントリー大会があり、箱根を越える２２キロでした。私が初めて参加した際、あと一歩の所で入賞を逃し、同学年の生徒が一年生で優勝する快挙を成し遂げ、悔しく感じました。その時、来年は入賞するだけでなく、彼を抜き優勝する事を決めました。そこで、毎日の部活動での走り込みや、筋力トレーニング、食事バランスなど、妥協する事なく一年間鍛え続けた結果、翌年には大会新記録で優勝する事ができました。目標を持ち、努力を積み重ねる【継続力】の大切さを実感し、今後の人生でも活かそうと想いました。

学生時代最も打ち込んだこと400　村上

文化祭での巨大パネル製作です。私の大学の文化祭で毎年行われる競技の一つに、学科対抗で40ｍのパネルを製作し、一般の方による投票で順位を決める競技があります。私はその製作責任者を務めました。これまで私の学科は毎年似たデザインが採用され、上位に入賞する機会がほとんどありませんでした。私は「そんな伝統を打ち破り優勝したい」と強く想いました。そこで、私は本番の半年前から準備を始めました。まず、昨年までの優勝作品の傾向を徹底的に分析しました。それをもとに、これまでの洋風デザインから和風で迫力あるデザインに変更しました。さらに、筆では表現できないグラデーションを表現する為に、新たに指で塗る技法を取り入れました。その結果、１６学科中２位に躍り出ました。優勝には届きませんでしたが、考えを実際に具体化し、実践する事で大きな成果が得られる事を改めて実感し今後も自らの考えを言動で示し、目標を達成していきたいです。

これだけは負けないポイント300　サカタ

私の強みは【継続能力】です。理由は、英語が話せない段階から一年半で、日常会話や研究の発表を英語で行うまでになったからです。二年前に数人の留学生が研究室に所属しました。私は実験を教える際に英語が苦手で伝わらず、ミスを招いてしまう事があり、うまく説明出来ない歯がゆさを感じました。そこで、参考書を毎日一項目ずつ、発表用と日常会話用で分けて勉強し、留学生達と積極的にコミュニケーションを取りました。その際にはネイティブな発音を意識しました。その結果、徐々に自然な会話が出来るようになり、発表でも英語で考えを伝える事が可能となりました。今後もこの【継続力】で目標に向け、着実に努力し続けたいです。

自己PR400　村上

私は【他者の事を考え行動出来る人間】です。研究室に来たメキシコ人留学生は日本語を話す事が出来ず、研究室メンバーも英語や外国人に苦手意識があるのかほとんど話しかけない為、彼は孤立していました。私はこの現状では彼の留学が有意義だったと言えないのではないかと考え、拙い英語で積極的に話しかけました。居酒屋に行き交流を深め、雪を見た事がない彼の為にスノーボードにも連れて行きました。その結果、これまで、黙々と課題をするだけだった彼も徐々に研究室になじみ、私を介して、彼に話しかける人も増ました。そして、彼の笑顔や、メンバーと彼との距離を近づけるきっかけ作りができたと考えています。私は仕事をする上で人と人の繋がりが最も大切であると考えています。その為に、他者の気持ちを汲み取り、行動に移す事で、仕事が円滑に進み、よりよい結果を生むと信じています。私はこの気持ちを忘れずに日々の仕事に取り組みます。

自己Pその２　採用　村上

私は【考えを具体化する行動力とチャレンジ精神】があります。研究室に来たメキシコ人の短期留学生は日本語を話す事が出来ず、研究室メンバーも英語や外国人に苦手意識があるのかほとんど話しかけない為、孤立していました。私はそれを目の当りにし、「彼の留学をより有意義にしたい」と強く想いました。そこで、私は拙い英語で積極的に話しかけ、彼の寮や居酒屋にメンバーも誘って行き、交流を深めました。また、雪を見た事がない彼の為にスノーボードや、温泉にも行きました。その結果、これまで、孤立していた彼も研究室になじみ、彼に話しかける人も増えた事で彼の笑顔が増え、帰国の際は、「充実した留学だった」と伝えてくれました。私は頭で考えていても実際に言動で表現しなければ何も考えていない事と同じである事を信念に生きてきました。これからも、自ら考え実際に行動し、果敢にチャレンジする姿勢を崩さずに仕事にも取り組んでいきたいです。

自己P250　（履歴書）

【考えを具体化する行動力とチャレンジ精神】が私の長所です。研究室に来た留学生は日本語を話す事が出来ず、研究室メンバーも英語に苦手意識があるのか話しかけない為、彼は孤立していました。私は彼の留学をより有意義にしたいと考え、拙い英語で積極的に話しかけました。居酒屋や雪を見た事がない彼の為にスノーボードに連れて行きました。その結果、彼も研究室になじみ、メンバーとの距離を縮める事ができたと考えています。これからも、自ら考え行動し、果敢にチャレンジする姿勢を崩さずに仕事にも取り組んでいきたいです。

自己P300 タキイ

私の強みは【継続力】です。理由は、英語が話せない段階から一年半で、日常会話や研究の発表を英語で行うまでになったからです。二年前に数人の留学生が研究室に所属しました。私は実験を教える際に英語が苦手でうまく伝わらず、ミスを招いてしまう事がありました。また、ゼミでの発表や質疑応答も全て英語となり、うまく説明出来ない歯がゆさを実感しました。そこで、参考書を毎日一項目ずつ、発表用と日常会話用で分けて勉強しました。また、普段から留学生達とコミュニケーションを取り、ネイティブな発音を意識しました。その結果、徐々に自然な会話が出来るようになり、発表でも考えを伝える事が可能となりました。今後もこの【継続力】で与えられた仕事を着実に行いたいです。

自己Ｐ400　open ES

私の長所は【改善能力】です。私は常に自らの成長を考え、昨日の自分より今日の自分が成長している事を心がけています。この長所が最も現れたのが研究室での実験です。学部時代の私は失敗した後の反省が甘く、同じ失敗を繰り返してしまう事や自分では分からない問題にぶつかったときに著しく停滞する事がありました。そこで私は実験の計画、実行、反省を徹底的に見つめ直しました。これまでは期限を持たなかった作業も制限時間を設け、作業効率をあげ、実験に成功しても失敗してもその原因を考え、ノートに記す事で次の実験に生かしました。その結果、実験のスピードが格段に上昇し、現在では学術雑誌に論文を掲載できるレベルまで進める事ができました。この経験から「Why」を繰り返し、修正する事で常にアップデートされ、着実にゴールに向かう事を学びました。今後も、この【改善能力】を生かし、貴社の元で尽力したいです。

自己P400 ツムラ

私のキャッチフレーズは【チリツモ信者】です。チリツモとは「塵も積もれば山となる」の略称です。コツコツ正しい事を積み重ねていけば目標を達成できると信じています。その理由は、クロスカントリー大会優勝の経験です。私の高校では22キロのクロスカントリー大会がありました。私が初めて参加した際、同学年の生徒が優勝し、私は入賞さえできない結果で、悔しく感じました。その時、来年は入賞するだけでなく、彼を抜き優勝すると決めました。そこで、毎朝走り込みや、筋力トレーニングを始め、箱根駅伝出場経験のある父に積極的にフォームなどのアドバイスを聞きました。そのトレーニングを部活動とは別に一年間続けた結果、翌年には優勝する事ができました。目標を持ち、やるべき事をコツコツ続ける「チリツモ信者」の精神は、自らを成長させてくれると実感しました。また、この精神は完成まで長い期間を要する物作りにも必ず活きてくると信じています。

コメント

小学生の夏休み課題でヘチマを育てました。毎日水やりと経過を絵に描き続けました。その際はわずかな変化も見逃さない為に、ツルの一本一本の長さまで詳細に記録しました。何より、私は毎日のその作業が楽しいと感じていました。昨日は５センチ程の芽が今日は5.5センチに伸びているだけでワクワクした事を覚えています。その感覚は現在も変わらず持ち続けており、研究室で扱う植物を観察する際はより詳細に記録する事を心がけています。育種の仕事にはこれに共通するものがあると考え、今度は自分の為だけでなく社会の為に、貴社の元で育種として貢献し続ける事をライフワークとしたいです。

＊志望理由

私の就職活動の指針と、貴社が一致した事から志望致しました。私は就職活動の指針として【新たなものを生み出す仕事】と【グローバルな企業】をあげております。私は人々の生活を支える物作りがしたいと考えております。中でも「食」は人々の健康を支える上で、必要不可欠な生活基盤です。貴社は「食」の中で重要な野菜において、その高い品質と誠実さで、業界国内最大手として、人々の食の根幹を支えていると考えています。また、貴社は国内だけでなく、海外にも積極的に進出し、世界を視野に入れたグローバル企業であるという点においても、大変魅力に感じました。世界のニーズに対応する為に多種多様な環境に対応した高い品質のタネを世界各地で開発、生産し、供給し続ける貴社の一員として、私も尽力したいです。さらに、私は実家が兼業農家である事から、常に農業を身近に感じておりました。幼い頃から畑や田んぼでの作業を手伝う事で、その苦労や達成感も経験してまいりました。その経験から、より良い作物を将来は自らの手で生み出したいと考え、大学でも植物のストレス耐性遺伝子について研究しています。この植物が常に身近にあった人生の新たな、そして大きな一歩として、世界規模で戦い続ける貴社の元で成長し、国内だけでなく世界の人々の生活に貢献したいです。

村上農園志望理由400

貴社の積極的に新しい事に挑戦できる風土と、強みである開拓力に魅力を感じたからです。私は世界の食糧課題解決に貢献する為に現在の環境ストレス耐性に関する研究を行っており、その過程で思いついた挑戦したいアイディアがあります。しかし、そういったアイディアはあってもなかなか実行に移す事の出来る企業は少ないと考えています。そこで、貴社の説明会で感じた、積極的にチャレンジできる風土と独自性がある開拓力、また、これから世界進出を狙う将来性に強く魅力を感じました。しかし、こうした新しい事を始めるのは一人では決してできません。そこで、私の他者の事を考え行動できる人間性を活かし、自分が情熱を持って試行錯誤し、目標達成に尽力する事はもちろん、チームや協力する方々と一丸となる事を常に意識し、情熱と気配りで生命の農ビジネスを世界に拡げていきたいです。

一つ目は【人々の為に創造する仕事】である事です。私はこれまで、植物の研究を行ってきましたが、人々の生活には直接還元できないものでした。そこで、今度は自らの研究成果が直接人々の生活に作用する研究や開発に携わりたいと考えております。中でも「食」は人々の生活基盤であり、欠かす事の出来ないものです。自らが創意工夫し、携わった新価値を人々の生活に役立てたいです。二つ目は【若いうちから挑戦できる風土】です。より多くの経験を積み、より多くを学ばせて頂く事で、人々の「食」という側面から貢献し続ける事をライフワークとしたいです。三つ目は、【独自の世界がある企業】です。何か競合他社にはない特化した色がある企業は強いと考えています。一つの武器を軸に安定した利益を得る事が出来るからこそ、次の新たな提案にチャレンジでき、ナンバーワンよりもオンリーワンを目指す企業に魅力を感じ、私も独自性高い製品作りに携わりたいです。

＊育種職を希望した理由

私は【育種】または【研究】分野で、新品種を生み出す事に携わりたいです。その理由は私の就職活動の指針である【新たなものを生み出す仕事】と一致しているという点と、私の強みである【継続能力】が品種の開発に向いている要素であると考えたからです。品種の開発には長い年月を要し、10年先を見据え、毎日の世話や厳密な調査などの積み重ねが重要であると考えています。この長所が現れたのが研究室での掛け合わせによる変異株作出の作業です。私は環境ストレス耐性に関係した遺伝子について研究しており、ある遺伝子群に着目しました。その遺伝子の機能を調査する為に、T-DNA挿入ラインによる欠損株の掛け合わせで、遺伝子を複数欠損させた変異体の作出を試みました。しかし、複数の遺伝子を欠損させる事は成功する確率も低下します。播種と掛け合わせ、ゲノム抽出と挿入確認を毎日繰り返しました。時には害虫の大量発生などで、サンプルがダメになってしまいかけた時も気持ちを切り替え、生き残ったサンプルや新たなタネを播種し、作出をし続けました。その結果、何百何千粒の中から、１ラインの変異体を作出した時は思わずガッツポーズをして喜び、強い達成感を感じました。目標達成の為に地道な作業を続ける【継続力】や植物に携わってきた経験から、育種という職種で自分の能力を活かせると感じました。その為に、貴社の元で、目標達成にひたむきに向かう【継続力】で、人々の生活に貢献したいと強く考えています。